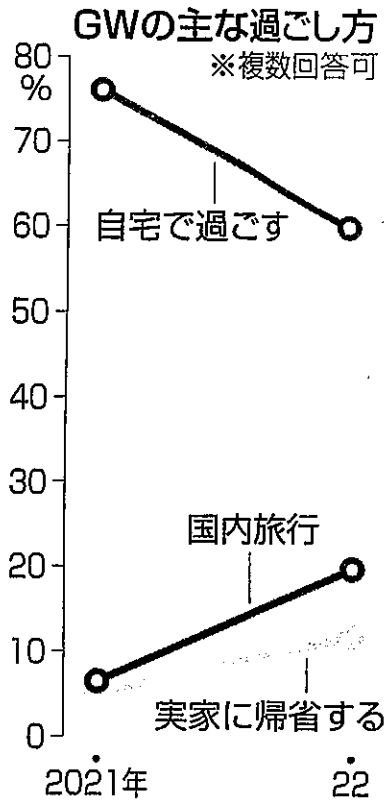


国内旅行は3倍、自宅派も

今年のGW動向調査

調査会社インテージ(東京)のゴールデンウィーク(GW)の予定調査で「自宅で過ごす」が6割を占めた一方「国内旅行」が前年の3倍の2割近くに達したことが分かった。



上となった。
GWにどれぐらいの金額を準備しているかを尋ねたところ、平均は1万6407円。過去2年は1万円前後だった。

GWの平均予算は約1・6倍に増えた。担当者は「新型コロナウイルスの感染者は依然多いが『ウィズコロナ』で楽しむようにする人が増えてきたのではないかと話している。

同社の15〜79歳の一般モニターを対象にインターネットでアンケートをした。21年は6・5％で、21年(76・1％)と20年(75・9％)から下がった。21年は6・5％だった国内旅行は19・7％、同じく4・2％だった「映画・美術館・エンターテインメント施設」は13・4％に伸びた。「ショッピング」(31・7％)、「外食に行く」(28・0％)、「実家に帰省する」(11・8％)も21年の2倍以下